# 新製品発売のお知らせ

2017年6月13日
日本シグマックス株式会社

**アスリートの選手生命を脅かす"膝前十字靭帯(ACL)損傷"の**
**リスクを減らす着地姿勢をサポートする**
**機能的着圧ウェア「Neomotion（ネオモーション） ACL」発売**

日本シグマックス株式会社（本社：東京都新宿区　代表取締役社長：鈴木廣三）は、膝サポート用スパッツ「Neomotion（ネオモーション）ACL」を発売いたしました。

**【本件のポイント】**
・アスリートの選手生命に影響を及ぼしかねない膝前十字靭帯（ACL）損傷は、再建手術後も再発の危険性がある。
・受傷メカニズムの研究が進み、安全な着地動作の獲得を目的とした予防トレーニングが各地で行われている。
・Neomotion ACL は、リスクの少ない理想的な着地動作に誘導するラインをコンプレッションウェアに施し、新たな動きの獲得をサポートする。

**【本件の概要】**
膝前十字靭帯（ACL）は、スポーツ活動において、ジャンプ、着地、ピボット（ひねり）などの動作でその制動性が発揮され、特に膝をひねる動きの際に関節を安定させる器官です。ACL 損傷はコンタクトスポーツ以外に、ジャンプ着地時や膝のピボット強制時にも発生し、スポーツ障害のなかでも重症度が高く、選手生命を左右することがあります。断裂の場合、再建手術、リハビリテーションを経ても、競技復帰まで半年以上を要することが多く、多くのアスリートが悩まされている怪我の一つです。

ACL 損傷に対する再建手術を受けた患者は、一定の割合で再発するとされています。近年、受傷メカニズムの研究が進み、着地動作での ACL 損傷の予防のためには、膝関節だけでなく、足部、股関節、体幹の動きを改善する必要性が示されています。これらの研究報告を受け、近年では国内でも、"安全な着地動作の獲得"を目的とした予防トレーニングが各地で行われており、ACL 損傷を起こさないための取り組みに注目が集まっています。

Neomotion ACL は、ACL 損傷リスクの少ない新たな動きの獲得をサポートするために、理想的な着地動作へ誘導するようコンプレッションウェアに伸縮性の異なるラインを施しました。下肢全体を覆うスパッツ形状に、下腿から骨盤/股下に至る独自の 2 種類のラインにより、損傷側だけでなく健常側にも働きかけ、安定した姿勢への誘導を行います。

ACL 損傷後や再建手術後には、装具やテーピングを使用することが一般的ですが、規定により試合中に装具が使用できない競技があったり、テーピングは運動により緩みや剥がれ、皮膚のトラブルなどが生じます。Neomotion ACL では装具とテーピングの課題を同時に解決するために、スパッツとテーピングを組み合わせた商品を目指しました。装着により安全な着地動作を誘導することができれば、ACL 再建術後の方だけでなく、リスクの高い人に対して ACL 損傷の発生リスクを軽減するアイテムとしても貢献できると考えています。

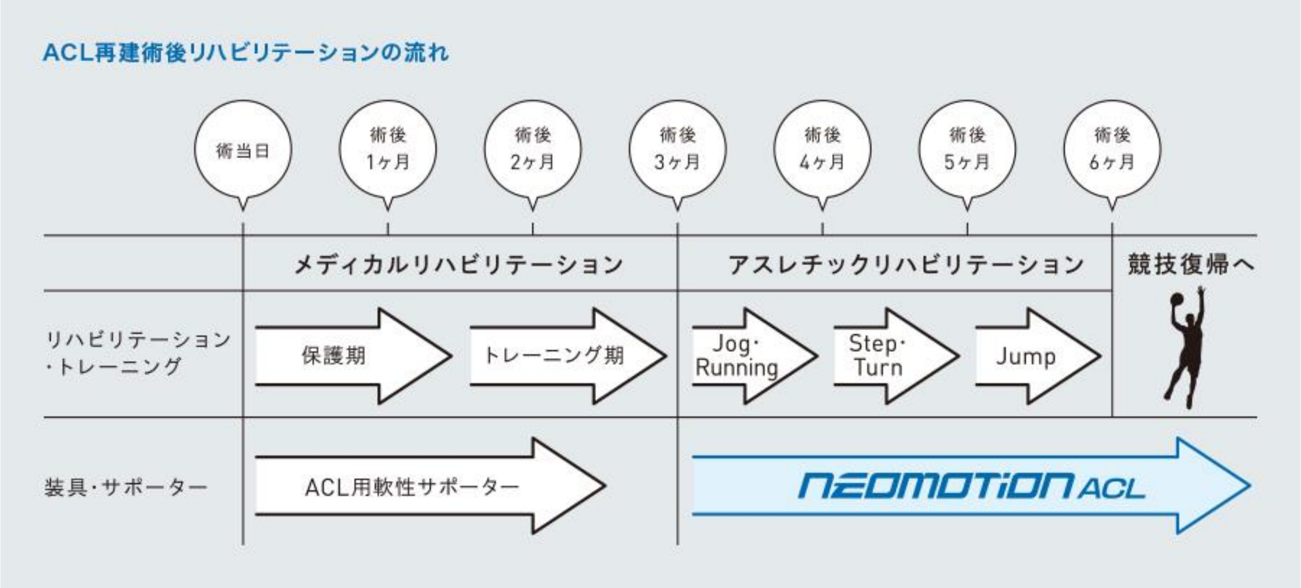
**【製品情報、販売に関して】**
・Neomotion ACL は一般販売を行っておりません。購入を検討される際は医療機関へお問い合わせください。
・専用ウェブサイト（医療従事者向け情報）　http://www.neo-motion.jp/

**【本リリースに関する取材等の問い合わせ先】**
医療マーケティング課　03-5326-3230　s_tokuno@sigmax.co.jp　担当：得野

添付資料

## ＜医療機関での使用例＞

再受傷の危険肢位を取る可能性の高い、アスレチックリハビリテーション開始以降(術後 3 ヶ月頃)の使用を提案しています。




引用文献：松尾高行ほか：膝前十字靭帯再建術：膝蓋腱使用例-術後リハビリテーション.臨床スポーツ医学 Vol.30：338-347,2013

## ＜Neomotion ACL 製品特長＞

### ■独自のラインの走行による安定した姿勢の誘導

下腿から骨盤/股下に至る 2 種類のラインが膝関節へ機能し、着地動作時の膝関節・体幹姿勢の安定を高めます。

- **下腿外側から膝内側を通り大腿外側を走行し、骨盤へ至る A ライン**
- **下腿内側から膝外側を通り大腿内側を走行し、股下へ至る B ライン**

### ■下肢全体を覆うスパッツ形状

損傷側だけでなく健常側にも同様にラインが機能します。ズレにくく、膝関節屈伸等の動きを妨げにくい形状のため、パフォーマンスや皮膚への影響が少なく、リハビリ～競技復帰まで幅広く使用できます。

添付資料

## ＜日本シグマックス株式会社について＞

日本シグマックスは「身体活動支援業」を企業使命に掲げ、創業以来 40 年以上にわたり、医療、中でも整形外科分野に特化して各種関節用装具やギプスなどの外固定材などを製造・販売してきました。また、医療機器にも進出し、当社が先鞭をつけたクライオセラピーのためのアイシングシステムや、国内初のコードレス超音波骨折治療器「アクセラス mini」などを世に出しています。

近年では運動器の維持・向上を目的としたリハビリテーション分野への取り組みを強化し、空気圧を利用して下肢への負担を軽減する反重力トレッドミル「Alter-G（https://www.alter-g.jp/）」など、特徴のある製品を市場に導入しています。
（運動器：骨、関節、筋肉や神経など、身体を構成し、支え、身体運動を可能にする器官）

また、コンシューマー市場向けに展開するスポーツブランド「ZAMST（ザムスト）」のサポーターは、各スポーツ界のトップ選手から高い評価を受け、国内スポーツサポーターNo.1 販売シェア※となっています。2010 年からはロコモティブシンドロームを予防するための啓蒙活動の一環とで、「ロコモチャレンジ！推進協議会」の正会員企業として、社会に「身体を動かす喜び」を提供し続けています。

※2015 年スポーツサポーター（スポーツ販売チャネルを主としたブランド商品対象）市場　メーカー出荷金額ベース　（株）矢野経済研究所調べ 2016 年 12 月現在

### 企業情報

所在地：東京都新宿区西新宿６－８－１
創業：1973 年 6 月 1 日
資本金：9,000 万円
代表取締役社長：鈴木　廣三
社員数：250 名（2016 年 3 月末）
売上高：101.9 億円（2016 年 3 月期）
コーポレートサイト：http://www.sigmax.co.jp/